

教室では「じゃんけんゲーム、で大ハシヤギ

広報

ひがし しらかわ

1994
平成6年

3

No. 393

- 発行/東白川村
- 編集/企画財政課
- 岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

人口の動き

—2月末住民登録人口から—

世帯数	902世帯
人口	3,442人
転入	1人
転出	5人
出生	1人
死亡	3人

先月と比較して6人減
 昨年同月と比較して
 3人減

4月から、お願いします！

この4月から新1年生として小学校へ入学する神土、越原、五加保育園の年長さんたち35人が、3月4日小学校で、1年生のみなさんとの交流会を行いました。

春からは、初めて後輩ができる1年生。交流会では学校探検やゲームが行われましたが、後輩たちの手を引いて、すっかり立派なおにいさん、おねえさんの顔に…。どちらにとっても楽しみな入学式はもうすぐそこまでやっています。



「遊びの森」はスリル満点！



新しい波を巻き起こせ

新年度予算特集

平成六年度の村の予算が決まりました。三月七日から開かれた村議会定例会は、総額四十二億九千百万円余りの村の当初予算を議決して、十日に閉会しました。

六年度の予算の編成にあたっては、その指標ともいふべき国の新年度予算や地方財政計画が未決定という中での作業となつたうえ、国が不況対策として行った第三次補正予算の受け入れも考えながらの編成となりました。

長引く不況の中で、村づくり総合計画の着実な推進を目標に編成された新年度予算。四月一日からは、この新しい予算による平成六年度のスタートとなります。今月号は、新年度予算特集としてわたしたちの暮らしに直接関係の深い村の予算を「道」、「健康」、「水」、「産業」、「人」という五つのテーマにわけて、眺めていきたいと思えます。

待望の五加バイパスが全線開通。
加子母村境までのコースが決定
します。

秋には通れる 五加バイパス

橋四つを含め、総延長二三八〇分の五加バイパスが、昭和六十三年の着工から七年の歳月を費やして、最終年度を迎えます。

現在、最後の橋となる柏本橋の工事などが行われていますが、全体の約九割は終了しており、この秋には全線が開通します。

越原地内も 路線決定

昨年、国

道として昇格した二五六号線、越原地内では、稲垣製材所前から藤の木橋付近までの工事が引き続き行われます。

また、気になる藤の木橋以降加子母村境までの区間も路線が正式決定し、調査設計が開始される予定です。

さらに充実 集 落 道

主要道について簡単に触れましたが、各地域へ通ずる集落道もさらに左表のように充実を計っていきます。

その中の一部を簡単に紹介しましょう。

日向本線は、安江哲男さん宅裏の谷付近から田口重夫さん宅裏までの延長二一五分にわたり、幅四尺の道路の一部新設と改良が行われます。中川原線は、つちのこ館上

手から平川
向へ通ずる

道

▲五加バイパス
工事現場

新年度道路整備予定13路線

☆農村総合整備モデル事業（1路線）

- ・日向本線改良工事（215m）

☆村単農道整備（2路線）

- ・下野中線（102m）
- ・神矢測線（下野、100m）

☆県営畑総事業（1路線）

- 【支線道路整備】
- ・柏本宮代線（700m）

☆中山間地域活性化事業（5路線）

- 【農道整備】
- ・中川原線（橋梁下部工）
- 【農道舗装】
- ・暮石線（中通、604m）
- ・神付線（299m）
- ・外山下線（神付、358m）

- 【集落道整備】
- ・小峠線（中谷、383m）

☆誘遊街道整備事業 … 田口泰造氏宅前から安江秀太郎氏宅前まで 113mの開設

☆公共道路改良（改良舗装）

- ・東円畑線（上親田、160m）

☆林道の開設、改良事業（1路線）

- ・穴沢林道（改良、黒淵 56m）



工事が進む越原地内

道です。新年度は、新しく作られる橋の橋台と橋脚の工事を行います。五加では、柏本宮代線が安江繁美さん宅前から五加神社裏までの一部新設を行います。

危険箇所を 改良します

村内には、道が狭かったり、

急カーブがあったりといった危険箇所がいくつかあります。この中の、越原付知線大明神地内での工事の継続と恵那蛭川東白川線の親田地内でのサピロ谷ますつり場より上手一部の拡幅工事にも着手します。

新年度の予算総額は、四十二億九千四百七十七万円となり、この数字は前年度を十・一割下回りました。昨年度は、百年に一度という役場庁舎建設とはななき会館建設を同時に行う特別な年だったため、一般会計での差がこの結果を生んでいます。

村にはそれぞれの目的によって設置した六つの特別会計があります。このうち前年度より増額となった国民健康保険、老人保健特別会計については、医療費値上げに伴う給付費を見込んだもので、病院事業会計は、高齢者の増加をうけ、訪問看護などサービスの向上を図ります。

また、有線放送会計は、昨年度本部交換機の更新が終わったため大幅に減額となりました。

（次ページに続く）

総額	42億9147万円	(10・1%減)
一般会計	25億4800万円	(19・4%減)
国民健康保険特別会計	2億2400万円	(19・8%増)
老人保健特別会計	2億9300万円	(6・9%増)
有線放送電話特別会計	2400万円	(77・6%減)
簡易水道事業特別会計	7億6000万円	(18・0%増)
分取造林費特別会計	200万円	(0)
病院事業会計	4億4047万円	(10・1%増)

保健センターの建設は、保健、福祉医療の一体化を実現します。



健康

「八百四十五人」これは、二月末現在村内に住む六十五歳以上の方、つまり高齢者の人数です。西暦二〇〇〇年には、全国規模で四人に一人は高齢者という高齢化社会が訪れると予想されていますが、わたしたちの村ではすでに、その社会に突入しています。五年度末には村でも「高齢者福祉計画」が策定され、今年度はその推進を行っていく年となります。これまで通りの活動

に加えて、在宅福祉サービスの実施を図るためホームヘルパーの増員を行っていくほか、新たに作られる保健センターを拠点施設とした保健福祉、医療の一体化を推進していきます。

「長寿」を考えるうえでは、「健やかに老いる」ことは最も大切です。せせらぎ荘のサービスクラスや生きがいづくり事業も一層の充実を目指していきます。

また、地域のお年寄りのふれあいを目的にした「いの家」は、西洞に建設予定です。

白川町との協力で老人ホーム建設

白川町との協力で行う事業として特別養護老人ホームの建設が、二か年の計画で実施されます。

これは、白川町坂の東に建設され

るもの。平成八年の業務開始には、村で十床の利用が可能となります。

生命の誕生と健やかな成長を温かく見守ります

昨年一年間に村内で出生が四十一人ありましたが、新しい生命の誕生は村にとっても大きな喜びです。今年度は、保健センター建設に伴い、母子センターが解体されますが、病院の病棟の一室を一部改装し、利用するこ

保健センターはこんなスタイル

保健、福祉、医療の拠点施設として建設されることになった「保健センター」が、今年夏くらいからこの予定で着工されることになりま

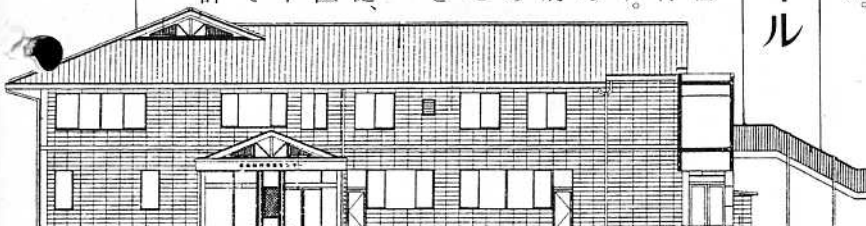
この施設は、現在のの

母子センターとその裏にある医師住宅を取り壊してその敷地に建てられます。

鉄骨造り二階建てで外観は、これまでに作られた各施設のスタイルを継承した瓦葺きの建物。一階は、各種相談室や指導室からなる保健センターとなり、今までは、村内の諸施設で行っていた、健康相談や各種検診などを行うスペースです。また二階はこれまでの母子センターの機能を持つ予定です。

六年度中には、完成の予定で来年度からは、この施設を利用

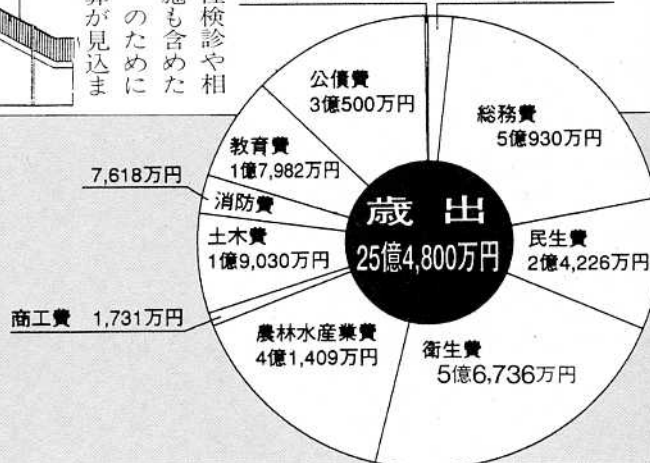
した各種活動が行われます。せせらぎ荘、病院にさらに保健センターを加えた一帯を保健福祉、医療のゾーンとして充実させます。



とで検診や分娩は今までも行っています。

このほかにもこれまで通り保育園や小中学校での保健活動の推進、成人病検診、がん検診など各種検診や相談事業などの継続実施も含めた「村民の健康づくり」のために六億五千万円余の予算が見込まれました。

その他 214万円 議会費 4,424万円



一般会計歳出を科目別に見ると

一般会計の主な使い道については、五つのテーマにそって上段で紹介しましたが、科目ごとに歳出を見てみると右のような円グラフになります。

大きな割合を占めているもののうち総務費は、役場庁舎建設が終了したため、前年度と比べると六十五・三割の減額になりました。また、衛生費は、全体の二十二・三割を占める五億六千万円余となり、これは、前年度を二百十八・五割の増額と大きな伸びとなっています。そのおもな理由には保健センターの

3年目に入る簡易水道事業、今年もフル回転で工事を進めます。

水道工事

今年の予定は？

平成四年度からスタートした簡易水道事業、三年目となる本年は、七億六千万円の予算を見込んで、さらに工事を加速させます。

気になる今年のおもな予定は、越原地区二百七十戸で給水工事を行うほか、一部地域を除いた越原の五集落で約一万六千戸に及ぶ配水管工事、さらに安江廣文さん（大明神）宅裏、今井清八さん（黒淵）宅裏、長谷川義一さん（陰地）宅裏の三か所に配水池が設けられます。

また、陰地の田口英雄さん宅付近には、圧力調整池の建設も行う予定です。

大明神川を水源として越原地区のほぼ全域と神土地区の一部に給水を行う東白川簡易水道。完成時には配水管を直線距離にする

と岐阜市にまで届く長さになるとか。給水までにはまだ少し時間はかかりそうですが、一步一步確実に進めていきます。

自慢の清流を 守っていくために

川の汚れには、いくつかの原因がありますが、その大きなものの一つに家庭から流し出される「生活雑排水」があります。

村では、平成二年度以降、合併処理浄化槽の設置に対する補助制度を実施し、これまでに六十七基の助成を行いました。

今までこの合併処理浄化槽の補助対象となつたのは、個人で十人

水

槽の規模のため、例えば、家が密集して



水道工事も一步一步前進

場所がない時など、共同では補助が下りません。今年からは、共同設置の場合も考えたうえで、規模も

拡大し、五十人槽のものまで助成を行っていく予定です。

このほか、清潔で安全な生活環境を守るため水質検査の継続実施やゴミの減量化、リサイクル運動の推進などに二億万円余が見込まれました。

自然とのかかわり を大切にします

「全村公園化構想」の一環として建設され、この三月までに姿の整う「瀬音公園（陰地）」、「鮎が瀬公園（平）」、「五介の滝公園」（久須見）。

「人と人」「人と自然」とのふれあいの場としてふさわしい装いとなりました。

こうした公園の管理は、完成後、それぞれの地元の皆さんの手に委ねられます。地域での交流の場所としてまた、



親水施設瀬音公園（陰地）

村外から来られた人の憩いの場所としてその地域の自慢になるような公園にしたいと、大きなことが、大きな願いです。

また、今年には平中川原にコテージ五棟を建設します。

これは、六年度の事業として予算にも見込まれる予定でしたが、国の景気対策として行われた三次補正によって五年度中に補助が受けられたため、予定より少々早く取りかかるとなつたものです。

このコテージ（簡易宿泊施設）は、一年を通して宿泊が可能で、一棟につき六、七人まで利用ができます。木の特色を生かし、山村をイメージしたこの施設。家族やグループでの利用に大きな期待が寄せられています。

国の景気対策 五年度三次補正

建設が挙げられます。本格的な高齢化社会を迎えている私たちの村にとっては、保健、福祉、医療の一体化実現は、急がれる課題といえるでしょう。

そのほかに前年に比べ、三十七・八割の伸びを示している土木費は、産業団地進入路（東円畑線）改良工事や誘遊街道（平向線）開設工事などが増額の理由となつていきます。

一般会計全体は、二十五億四千八百万円となり前年対比十九・四割の減額となりました。

国が景気対策として行った五年度三次補正によって、村でも六年度予定されていたものの中にこの三次補正の対象になったものがいくつかあります。

この政策は、景気回復策として国が六年度に補助金を出す予定でいたものの一部を少し早めて補助金を出し、事業の着工も早めるといったものです。

村では、環境改善センター建設費の一部やコテージの建設費中根林道開設工事、中山間整備事業の一部が対象になりました。

（次ページへ続く）

後継者育成に重点を置いて、農・林・商工業を推進します。

農作物の生産、拡大を目標に

今や村の農業の主力にまで伸びてきた園芸作物。中でも夏秋トマトは、栽培面積も拡大し、地元での苗の生産が追いつかないほどになっています。今年、野菜育苗施設の養生室の増設を行い、さらに拡大を目指します。また品質面で県一位にまで成長した夏秋ナスについても、収穫量を上げるため、ハウス栽培の試みが行われます。

稲作については、環境保全型農業の推進と収益性を考え、苗と肥料を同時に植え込む、

「側条施肥」が昨年に続いて行われます。

業産

後継者対策の新たな試み

村を支える農林業にとって、後継者問題は、切実な課題です。

村では、この問題に対して真つ向からぶつかっていく年になります。

その一つは、二か年の計画で実施される「青年農業者育成事業」です。現在、村に住んでいる農業後継者や今後Uターンして後継者となる人たちを安定的に確保していくため、受け入れ体制の整備を目的に実施するもので、今年はそのシステム化が計画されています。

また、林業面では、白川町との協力で「建築技能者確保対策協議会」を発足。今年から本格的に活動を開始します。この会は、大工の養成を目的としたものです。木造建築関係者等四十八名の会員で構成されており、先進地の視察などを実施するとともに調査研究を行います。

また、これまで若社長研修という名目で行ってきた研修に

ついては対象者を従業員にまで広げ、今年から「若手後継者社員研修」として充実を図ります。このほか新規就業者研修の継続など今年も人づくりに力を注いでいきます。

産業団地の敷地を造成

神土中通地内に計画されている「産業団地」。共同で国産材の製材を行う施設です。

今年はこの産業団地の敷地五千五百㎡の造成を行うとともに、産業団地までの進入路（東田畑線）百六十㊦の拡幅改良、舗装工事が行われます。

林業振興の拠点 林業センター建設

森林組合が主体となって今年度「林業センター」が建設されます。

現在の林産物共販所（曲坂）の隣に建設されるこの施設は、鉄骨造一部二階建てで、総床面積は、三百四十六・四㎡。林業振興と作業班の拠点施設となるものです。

この施設には、森林組合の事務所が設けられるほか、各種の会議室もあります。



村の過去を後世に残すために

村の重要な基幹産業である林業の拠点施設建設に村も大いにバックアップをしています。

こもればの館の右下方に「文化財収蔵庫」が建設されます。この施設は、現在中学校隣にある収蔵庫の取り壊しにあたって建てられるものです。

現収蔵庫には、昔の農具や山仕事の道具などから古文書類まで約七百点を収蔵していますが、新しく作られる施設では、収蔵保管だけでなく、一部展示のスペースも設ける予定になっており、昨年陰地遺跡から出土した埋蔵品も展示されるようです。

かつての村の産業を知るうえで、またこもればの里の新名所として期待が寄せられています。

一般会計の歳入を見る

一般会計予算総額二十五億四千万円の屋台骨を支える歳入についてはどうなっているのでしょうか。

歳入全体では、国や県などからの依存財源が総額の八十一・五割を占め、相変わらず大きなウェイトを占めています。中でも国から交付される地方交付税は、歳入総額の四十四割となる十一億二千万円が予定されており、これは、前年度よりも一億二千万円の増額です。

また、保健センター建設費補助金などが含まれる国庫支出金は、前年度より百七十五・二割増額の一億五千五百円余となっています。

村が国から借り入れる資金のことを「村債」といいます。新年度は、この村債を五億四千万円余計上しました。村債は借り入れる以上は、いわゆる借金であり、返済していかなければなりません。村では、返済元金と利息の七十割が国から助成される「過疎債」などの有利な村債を利用しています。

村が自主的に収入できる財源

はなのき会館をグレードアップし、こもれびの里をふれあいの場として充実させます。

新庁舎、はなのき会館の完成

平成五年度の目玉の事業となったのは、役場庁舎と文化施設はなのき会館の建設です。

両施設とも建物はこの三月に完成しますが、庁舎については、残りの外構工事や、庁舎の一部となる村民センターの改修工事を行うため事務の開始は、五月上旬ころの予定となり、竣工式は、はなのき会館の備品購入などを待つて六月の下旬に両施設一緒に行います。

また、今後広報紙を通して詳しくみなさんにお伝えしますが、この竣工式は、はなのき会館の備品購入などを待つて六月の下旬に両施設一緒に行います。

工式の際、村葉ずしコンテストを実施します。

お宅の自慢の朴葉ずしを奮ってご応募下さい。

はなのき会館では、竣工式後、より多くの皆さんに施設を見ていただくため、オープンセレモニーのイベントを実施するほか、歌舞伎や学校での文化活動に加えて映画会やクラシックの演奏会なども予定しています。

多目的施設農村環境改善センター建設

各種会議から結婚式の披露宴まで幅広く多目的に利用できるふれあい施設、それが農村環境改善センターです。

これまでの村民センターの役割をややグレードアップしたこの施設は、はなのき会館の二期工事となるもので、鉄筋コンクリート二階建、瓦葺き、百四十人までが収容可能な多目的ホールに加え、調理台四



完成真近かのはなのき会館

台を設置する予定の農産加工実習室、村民センターの農業研修室（現農務課使用）よりやや広くなる研修室などを備え、はなのき会館と渡り廊下で連結します。

二年目のふれあい体験合宿をより充実

これまで村民センターの大集會室では、例えば、結婚式でも百人くらいまでが限度でしたが、この施設なら人数が多少増えてもゆったり使っていだけます。

昨年、こもれびの館を利用した活動がいろいろな形で実施されましたが、今年もこれらの活動をより充実させていきます。中でも昨年九月から十月にかけて実施された「ふれあい体験合宿」は、参加した子どもたち

に好評で、「もう少し長く泊まりたかった」といった声が多数を占めました。

今年、こんな子どもたちの声を生かしていくため、またこ

今年、村民運動会の年

四年に一度開催される村民のスポーツの祭典「村民運動会」が今秋実施されます。

今年が九回目となるこの大会、今年は一昨年新装なった総合運動場で初めての開催です。

前年（平成二年）は、雨の降る中での大会となっただけに今年からはからっとした晴天の下で実施したいものです。

中学校改築準備に入ります

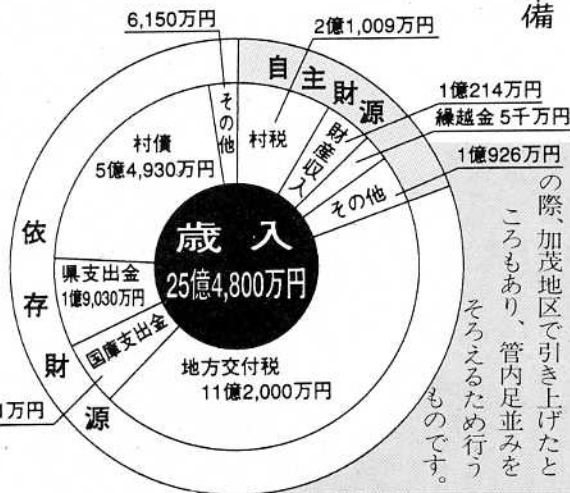
昭和二十四年に建設され、三十八年から現在の姿となった東白川中学校。

いよいよ今年から東白川中学校改築の準備がスタートし、基本的な検討を始

のこを自主財源といいます。この自主財源の主体となるのは、村税収入です。新年度は、前年度に比べ五・六割の伸びが見込まれています。

自主財源の中で前年度に比べ五十一割減と大幅に減ったものに財産収入があります。昨年度は役場庁舎建設という大事業があったため、いわゆる村の財産や貯金を充てたわけですが、今年はそのような事業が終わったため減額となりました。

また、みなさんに直接関係することとしては、窓口手数料の百円引き上げを行います。窓口手数料は十年間据え置きでしたが、昨年一月戸籍手数料令改正の際、加茂地区で引き上げたところもあり、管内足並みをそろえるため行うものです。



第4回 山村活性化講演会



山づくり村づくりは、人づくりから

—第4回山村活性化講演会—

集まった聴衆約八十人。去る二月十八日、村民センターにおいて「山村活性化講演会」が開かれました。

平成三年から農協、商工会、森林組合の三団体の協力で実施されているこの講演会。四回目となる今回は、農学博士、明海大学教授である傍ら、全国で村おこし、人づくりのための「森塾」を主宰されている森巖夫先生を講師としてお迎えし、「山づくり村づくり人づくり」と題した講演会となりました。

すべての決め手は「人づくり」

今回、講師としてお招きした森先生は、林業と山村問題の調査研究に精通され、また村づくりのアドバイザーとしても著名ということもあって全国各地の

たくさんの方の山村を歩いてみます。その経験から村づくり、地域おこしで成功している所に共通している点として話されたことは、いわゆる自然的立地条件が悪い所ほど成功例が多いという事です。

「今や「村づくり」や「地域おこし」は、全国各地で花盛りですが、例えば立地条件や交通の便などの恵まれている所が村おこしに成果を挙げているかといえ、決してそうではありません。むしろそうした条件に恵ま

れない、いわゆる「限界地域」のほうが成功例がたくさんあります。また、ものを作ることももちろん大切ですが、決め手となるのは、それぞれの地域に住む「人」の問題です。つまりこの村を良くするのもダメにするのも皆さん自身にかかっているのです。」

「人づくり」ということは、言葉でいうことは簡単でもとても難しい問題です。先生は、全国で村おこしに成功しているいくつかの地域の実例を交じえながら村づくりのために「どんな人が必要か」、「どんな人がいる所が伸びるか」について次のような話を聞かせて下さいました。

4つの子を持つ人がいる所は伸びない

「村づくり、地域おこしに必要な人々を考えていくにあたって、反対にこういう人がいる所は伸

おしらせ

平成七年歌会始について

平成七年歌会始のお題は「歌」と定められました。

詠進要領は次のとおりです。

①詠進歌は自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限りです。

②用紙は半紙（和紙）とし、毛筆で自書して下さい。ただし、海外から詠進する場合は、用紙は随意とし、毛筆でなくても差し支えありません。

③病気または身体障害のため自書できない場合は、代筆しても差し支えありませんが、代筆の場合には、別紙に代筆の理由、代筆者の住所、氏名を書いて詠進歌に添えて下さい。なお、視覚障害の方は、点字で詠進しても差し支えありません。

④書式は半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがな）、生年月日、職業（なるべく具体的に）を縦書きで書いて



下さい。無職の場合は「無職」と書いて下さい。（以前に職業に就いたことがある場合には、なるべく元の職業を書いて下さい）。なお、主婦の場合は、単に「主婦」と書いても差し支えありません。

【詠進期間】九月三十日まで。

【あて先】〒100 東京都千代田区千代田一―宮内庁とし封筒に詠進歌と書き添えて下さい。※詳しくは、役場企画財政課（有線二二八五）まで。

国民年金保険料

「前納プレゼント」実施中

平成六年度分の国民年金保険料を前納し、応募された人の中から抽選で、国民年金保険料センター「グリーンハイツ養老」のペア宿泊券（グリーンハイツ養老提供）を十人に、テレホンカード（グリーンハイツ養老・岐阜県国民年金基金提供）を千人にプレゼントします。

山に入ったら
火の取り扱いは
十分注意しましょう！
全国山火事予防運動

ひないという話をしましょう。こういふ人とは、四つの子の持ち主です。まず第一に「グチ」をいう人。地域のリーダーや一家のあるじが「農業に将来はない」とか「林業はもうダメだ」といってばかりいては、伸びようがありません。常に前を向いて進むことが大切です。次に「ムチ」な人。つまりアイディアを持たない人です。よそにはない「しかない」といった個性的なものを生みだす考え方を

持つ人が必要です。さらに、「ケチ」な人。これは力を出し惜しみして行動力のない人です。最後に「ヤキモチ」をやく人。村おこしに成功した所をうらやんでばかりいたり、足を引っ張りあっていては、伸びるはずがありません。この四つの子を持たない人がいる所は、必ず村おこしに成功していません。また、一人で行動しては意味がありませんから同じ考えを持つ人とおしのグループで活動して

貴重な森林を一瞬にして焼きつくす山火事。高知県物部村で起きた、焼損面積五百畝を超す大規模な林野火災をはじめ、全国で

事が起こるのでしようか。自然現象で出火したという例は減少はありません。そのほとんどは人間の不注意な火の取り扱いから出火しているのです。主な原因を挙げてみると「たき火」によるものが最も多く、次いで「たばこ」「火遊び」となっています。

山火

春先は山火事が最も多い季節。枯れた下草や積もった落ち葉など、燃えやすいものがあることや、空気が乾燥して「燃えやすい状態」になっているほか、山菜取りのために入山する人が増えたり、農林業のため火入

- ① 枯れ草などのある場所では、たき火をしない。
- ② 強風時及び乾燥時には、たき火・火入れはしない。
- ③ たき火の場所を離れるときは、完全に消化する。
- ④ たばこの吸いからは必ず消し、投げ捨てはしない。
- ⑤ 火遊びはしない。
- ⑥ 火入れの許可は必ず受け

図書コーナー

いじめの根っこ

内田 玲子著



いじめそのものは、ひとつのころより表面的には落ちていたように見えませんが、決してこれで終わったわけではなく、私たちが生き続ける限り永遠のテーマだと思います。推薦人 (19歳 男)

21世紀への旅立ち

内田 玲子著



大きな幸せばかり求めていると、ほんのささやかな幸せを感じなくなってしまう。ささやかな喜びを感じる心を持っていると、苦しい時、悲しい時それ乗り越える助けになると思う。推薦人 (34歳 男)

労働保険料の申告と納付はお早めに

労働保険の平成五年度確定保

【応募方法】官製ハガキに応募票を貼り、住所・氏名・生年月日・国民年金記号番号・電話番号を記載し左記へお送り下さい。
 【応募先】〒500 岐阜市藪田南二丁目一岐阜県民生部国民年金課内「前納プレセント」係
 【応募期限】平成6年5月末日当日消印有効
 【発表】賞品の発送をもって代えさせていただきます。
 ※詳しくは、役場住民課(有線二二六二)までお尋ね下さい。
 今年度の申告納付期限は、五月十六日(法定期限の五月十五日が日曜日にあたり、窓口・金融機関ともに休みのため)となります。まだ手続きのお済みになっていない事業主の皆さんはお早めに手続きを済ませられるようお願いいたします。
 なお、申告書の書き方、内容などについてご不明な点がありましたら岐阜労働基準局(☎0582(四五)八一〇一)または最寄りの労働基準監督署までお尋ね下さい。

働く

運動不足の解消に 歩くことから始めよう

二月十七、二十五日の両日、ふるさとセンター、村民センター



ちょっと脂肪がつきすぎ…?

の二会場において「ウォーキング教室」が行われ、約六十人のみなさんが参加しました。

可児市の健康増進施設クラブMから指導者二名を招き開かれたこの教室。歩くことの重要性の講義や体脂肪測定、ストレッチングの実技など内容も盛りだくさん。健康維持には一日一万歩が目安とか。歩くことは健康のためには欠かせませんね。

走る

練習の成果を發揮 小学校マラソン大会

去る三月三日、小学校でマラソン大会が行われました。



マラソンは自分との戦いです

校舎の周囲を含め、低学年が〇・八キロ、中学年が一・二キロ、高学年が一・六キロというコースを目標を決めて走ったものです。この大会に先立って子どもたちは、一月から週三回、行間の時間を使って練習を積んできました。その成果があつてか参加した子どもたちは全員完走し、目標を達成した子どもがたくさんあつたようです。

語る

悩みを出しあつて 楽しみながら農業を

時代が女性の登場を期待している時だからこそ、女性の声



活発な意見交換が行われました

を……。三月二日ふるさとセンターにおいて「むらづくり推進懇談会」が行われ、農業各部門の婦人部の代表など二十五名が参加、日ごろ農業に携わつての悩みや、村への要望などの意見交換が行われました。

こうした懇談会が行われるのは一昨年に続き二度目、前回は、農業各団体の代表を対象にしましたが、今回は全員が女性とい

聞く

人にはそれぞれ輝く役割が…… 公民館講演会

「人生はそれまでの生活の結果なんです。運が悪いとか崇りとかではないんです……」。

二月二十五日村民センターで



熱弁の内田先生

公民館講演会が開かれました。二年置きに実施されるこの講演会。今回は、家庭教育カウンセラーで日本PTA協議会推薦図書などの著述もたくさんある内田玲子先生をお迎えし「豊かな心づくりと一人一人の役割」と題した講演となりました。迫力ある先生の語り口に百人を超す参加者も、何か心に期するものがあつたことでしょう。

うこともあつて、「下水道の早期着工を」といったような女性ならではの意見も続出。また、中には「有機ブランドの有効利用を」とか「忙しい時期に人材バンクがあれば」といった建設的な意見も出るなど実りの多い会となつたようです。

■戸籍の窓―敬称略(二月)



誕生おめでとう
ございます

(神付) 村雲 史朗 千華

京子 二女



おみやみ
申しあげます

桂川くにへ 92歳(黒洲)

鈴木志すゑ 92歳(陰地)

安江 福夫 64歳(中通)

■善意の寄付―敬称略

〔社会福祉施設整備指定寄付〕

車イス五台―美濃加茂市社会福祉協力会 会長松岡伸治

〔庁舎備品購入指定寄付金〕

現金三十四万一千円―東白川村戦記編纂委員会

〔社会福祉協議会へ〕

現金十万円―村雲早苗(中通)

作る

山村生活の魅力満載！ 山里の暮らし体験施設完成

「こもればの里に新名所誕生」昨年十月末から工事が進められてきた農林業体験施設が、このほど完成しました。

この施設は、こもればの館の右下に建てられた「木挽小屋」と「炭焼き小屋」、はなのき会館からこもればの館へ通ずる百六十一坪の「遊歩道」の三つからなっています。

私たちの村の中で山林が占める割合は約九割。この山林資源を利用したいいわゆる「山仕事」は古くから農閑期の貴重な収入源として多くの人の生活を支えてきました。農林業体験施設は、そんな山里の生活を知ってもらおうと設けられたものです。

製材工場の登場とともに衰退した「木挽き」という仕事は、丸太を大きな手挽きのこぎりで挽き割って角材にする特殊技術「木挽小屋」には、囲炉裏があるほか、山仕事で使われた各種の道具が展示されています。



木挽小屋と炭焼き小屋

山村生活を語るうえで忘れてならないのは「炭焼き」です。かつて炭焼きは、冬場の貴重な現金収入となっていました。

「炭焼き小屋」は窯を忠実に復元し、また実用も可能です。

今や木炭は、燃料としての利用ばかりでなく土壌改良剤など用途も多様化しています。また、この炭焼き小屋では、農作物の防除等に効果のある「木酢」とよばれる物質を取れるしくみにもなっており、環境保全型農業にも役立てていく計画です。

みなさんもぜひこの「歴史空間」を体験してみてください。

外す

歴史の流れ！姿を消した 平のつり橋



沢尻橋は一瞬のうちに落とされました

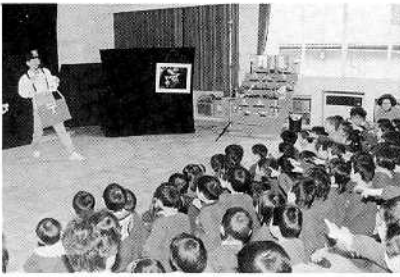
去る二月二十四日、沢尻橋の撤去工事が行われ、平のつり橋として親しまれた沢尻橋が落とされました。

平川向とを結ぶ橋として長い間活躍した沢尻橋。わずか数時間の間で落とされた様子からは、何か歴史の流れのようなものを感じてしまいます。

なお、沢尻橋に代わる平成橋は今月中に完成します。

見る

夫婦二人っきりの劇団 「なんじゃもんじゃ」来演



大喜びの神土・五加の園児たち

去る三月一日、二日の二日間 神土保育園、越原保育園へ「劇団なんじゃもんじゃ」のお二人が来演しました。

この劇団は、恵那郡福岡町から来られた西尾瞬三さん夏子さんご夫妻二人だけの劇団です。

お二人は、一昨年小学校へ来演したこともある「劇団うりんこ」のご出身。「子どもたちが喜ぶ顔を見るためなら、どこへ

でも行って上演したい」と独立し、劇団を旗揚げされました。

上演は、「さよなら」また来て「まる」と「青虫くんとなんじゃもんじゃの木」の二本。

「二人芝居」は子どもたちやお母さんたちに大好評でした。

現金二十万円 坪井由貴子 (岐阜市)

現金三十万円 安江諄六 (大明神)

現金二十万円 桂川卓也 (黒瀬)

現金五万円 野村きし多 (中通)

市川智丈 (一宮市)

現金五万円 鈴木泰宏 (陰地)

現金三万円 匿名

現金一万円 匿名

現金千円 匿名

〔神土保育園へ〕

スリッパ五十五足 平成五年度卒園児保護者一同

〔越原保育園へ〕

キーボード一台 平成五年度卒園児保護者一同

卒園記念用木材一式 古田材木店

仲良しベンチ一台 平成五年度卒園児保護者一同

同一台 保護者会退会者六名

同一台 村雲みね (粕本)



▲三戸真希ちゃん(行美さん・美穂さん二女＝大明神)



▲安江晴菜ちゃん
(弘企さん・由美子さん二女＝柏本)



ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■

今月号は新婚さんの紹介を一回お休みして、一年間の総決算として昨年度の村内住者の結婚組数について見て

たる六組(人)は、結婚後村外へ転出しています。この中には村外へ嫁がれたり、結婚後転居した人などが含まれています。データは掲載しませんでした。が、過去四年間の結婚組数をさかのぼってみると、平成二年度が二十四組、三年度が十七組、四年度が二十七組となっており

みたいと思います。昨年一年間(平成五年四月から平成六年二月まで)で、村に住民票がある人の結婚組数は、下表にあるとおり十三組となりました。その内訳を見てみると、村外からお嫁さんとしてお越しになった人が四人あるのに対して、お嫁さんとして村に来られた方は、残念ながら一人もありません。また、全体の約半数にあ

村内在住	村内の人どうしの結婚	3組
	村外からきたお嫁さん	4組
	村外からきたお婿さん	0組
村外	結婚により村外へ転出	6組
結婚組数		13組

〈平成5.4月～平成6.2月まで・資料：住民異動届より〉

「底の見えない不景気」の影響で結婚へ踏み切れないでいる人がいるのかもしれない。

ふれあいの再発見 6

広報

村と皆さんをつなぐ「広報ひがししらかわ」はこの号が三十九号になります。

昭和三十一年三月に第一号が発刊されてからちよつと三十八年。単純に十二か月を掛ければ四五六号のはずですが、事情があつて発行できなかったり、年末年始の合併号があつたりで、今年中には四百号の舞台に乗せることはまちがいありません。

その記念すべき第一号。当時の河田勘市村長は「およそ村づくりと言ひ、郷土の向上発展は心身共に健康な村民として、常に村政に対し深い関心を持ち……」と発刊のことは述べています。

それから三十五年後の平成三年九月号、トップの特集記事は「私たちの村は長寿村です」というテーマで、全国でも屈指の健康長寿村となった村の姿を紹介しています。

そしてこの号(三六六号)は岐阜県広報コンクールで特選、

全国コンクールで八席入選という栄誉を得ました。町村広報のスタイルもさまざま、単純なお知らせ版や、写真的なものもありますが、本村は読みものとしての方向で編成しており、またできるだけ多くの村民に紙面に登場してもらうことも基本的な方針です。

四〇号(昭和三十四年十月号)では「被害総額一億円を超える。全、半壊家屋百九戸！」と九月二十六日に襲った伊勢湾台風の被害を伝え、続いて十一月では神土小学校健康優良校日本一の記事がトップを飾るなど、悲喜こもごもの村の姿を伝え続けて三十八年。平成六年四月からはさらに親まれる広報をめざして紙面を改め、新しい姿でおめえします。したがってこのシリーズは今月号で最終回とさせていただきます。

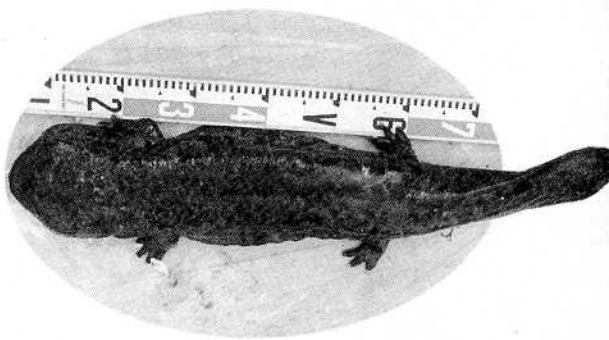




▲今井麻那ちゃん
(克幸さん・さつきさん長女—下野)



平成橋工事現場で身の丈一歩ほどの大山椒魚が一時保護。記念撮影後に再び川に帰されましたが、最初発見した人は、あまりの大きさに「オオノサンショウオ」と叫んだとか。



中学校での思い出を大切に

安江 洋(平)

この春、私たち四十一人の仲間たちは、東白川中学校を卒業し、それぞれの道へと進むことになりました。

昭和六十年に東白川小学校へ入学して以来九年間、この四十一人の仲間たちと共に多くのことを学んできました。特にこの中学校で

過ごした三年間は、自分たちがとても大きく成長することのできた三年間だったと思います。

部活動では、仲間たちと共に汗を流し、時には涙も流しながら

必死になって自分たちを鍛えてきました。そんな中で本当の意味での仲間の在り方というよ

うなものに気づくことができたと思います。また、中学校の大行事(体育大会、文化祭、合唱フェスティバル)では、一年生のころは全てが初めてで、どう取り組めばいいのかわからず必死で先輩の後ろを追っていました。しかし今では最上級生として後輩の指導までできるようになりました。そして三年間の最後の行事となった合唱フェスティバルでは、東中の財産である合唱をより高め、自分たちに自信を持つことができました。

私たちの学年は、男女を越

えて仲が良く、みんなが仲の良い友達です。その仲間たちとの別れが今一番つらいことです。これからはそれぞれ別々の道を歩むけれど、いつまでもこの仲間たちとの思い出を大切にしていきたいと思っています。最後に十五年間、私たちを大切に育てて下さった両親と恩師の先生方に感謝したいと思いません。ありがとうございます。



安江 洋さん

お話を を きかせて ください

独居老人訪ねある記

え。家でばおつとしていると本当に体に悪い感じがしますよ。ゲートボールとせせらぎ荘が待遠しいですねえ。

動くことが大好きというあまさんのもう一つの大きな楽しみは旅行です。毎年一回は、必ずどこかへ旅行に出かけられるとか。

「道楽みたいなことですが、旅行が大好きで体が丈夫で、そういう気持ちのあるうちはついていきたいと思います。去年は山形へ連れて行ってもらいました。今年は年金関係の沖縄旅行へ行きたいと思っています。沖縄は前にも一度いきました。沖縄は前にも一度いきました。体が暖かくて良い所でしたから、今から楽しみです。」

「最初のうちはやっぱり寂しかったですが、最近はずっかり慣れてしまってます。とにかく年寄りが一人で暮らしているのが健康。だけは気を付けているんですよ。」

あまさんの健康づくりは、運動をすること。中でも週二回のゲートボールは楽しみの一つです。

「ゲートボールへ行けば運動になりますし、みんなと会って話ができますからこれが楽しみですね



今井あまさん

わたしの作品



▲篆刻「達」
東白川中学校3年生
土井達也さん
(陰地)



▲版画「人と人のかかわり」
東白川小学校6年生 安江千章さん
(中谷)



▲「おともだちのかお」
神土保育園
やすえりなちゃん
(下親田)



▲「おひなさま」
神土保育園
なかしまのぞみちゃん (西洞)



▲「石こうでそっくりを作る」
東白川中学校3年生 安江美佐紀さん (下親田)



▲紙版画「さかな」
東白川小学校1年生 安江香子さん (日向)



広報文芸

● 短歌

○足萎えにならないために散歩道今日は少し伸ばして歩む 故安江と志江
酷寒と炎暑に堪えて草を食み生き延びし身をいとむこの頃 同人
未練なりと人は笑わむあまりにも亡き夫のこと多くうたいし 同人
○手のギブスとれて嬉しき亡き母の胸に組まれし永遠の合掌 今井 米子
○若く逝きし父の元へと旅立ちぬ紅さして八十路の母は 田口 英子
名刀の如く冴えたる寒月は田に張る氷を鋭く照らす 安江 香
在りし日の妻が夜なべに作りたる繭細工あまたわが手に残る 安江 化平
物余る世なれど篋笥に眠る衣をりホームせむとひがな励むも 安江 澄
○歩道橋を幼稚園児の一群に交りて一人大男のく 今井 かな
寒参りの睦月の空の晴れ透り御嶽山は雪を被けり 安江 龍玉
波乱多き生涯終えて安らかに旅立つ義姉に風花が舞ふ 三戸 きり
日本の主食ささえし農民の如何になりゆく現実暗し 小池 弘子
針持つが趣味の如かりし義母の針山タンスの隅に残れり 安江 節子
同じ道歩める友の病むと聞く春寒き朝戸惑ひにをり 安江とくよ
一日の終りをはなやく茜空薄墨色に暮れゆくかなし 小林 道子
出稼ぎに来しペルー人解雇され制服だけが窓辺にゆれをる 安江 順子
○来年も着ること希ひ色褪せし野良着を仕舞ふ師走となりて 苅田 清美
岩苔の緑に初雪照り映えてさんじやき鳥は谷間に啼けり 早瀬 久子
猫を飼い水や餌やればまつわるを引返すこと仲々出来ぬ 安江すみよ
十三年色恋忘れ看取りたる想出新らた母の墓前に 安江 守平
○言葉には強がり言ひつつ子供らの手をわが心待ちする 伊藤 美枝
「冷たい手」と人に云はるるこの日頃握手なすにも迷ふさぶしき 伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。



今年、世界家族年です。日本も含めて世界中が、家族のあり方や家族が持つ問題を見直し、その機能を問い直しています。▼村には三世代が同居している家庭もあれば、夫婦と子どもだけという核家族の家庭や夫婦だけの家庭もあります。それぞれの中、一人一人独立した世界や、生き方をもって生活をしているわけです。

▼家族は、お互いに気心知れた者ばかりですから、言葉はなくても意思を通じさせることができます。しかし、そのことがかえって、ぎくしゃくした人間関係を作り出していませんか。▼そこで、ちょっと照れ臭いかも知れませんが、「ありがと」と「すまないけれど」という二つの言葉を家族でたくさん使ってみてはいかがでしょう。▼きっと人間関係を円滑に保つ潤滑油となって、潤いある家族関係をつくり、一層温かみがあるふれるのではないのでしょうか。